



くすのき



●蒲郡市長祝辞

第31号 contents

- 法人創立 30 周年を迎えて ————— 2~3
- 施設だより ————— 4~9
- すてっぷ・ケアホームだより ————— 10
- 各施設寄付物品及びボランティア ————— 11
- 新任・退職者紹介 ————— 12

新任者紹介



・つつじ寮

竹内 愛
(生活支援員)



・つつじ寮

市川 友美
(生活支援員)



・つつじ寮

高崎 理代
(生活支援員)



・つつじ寮

原田 京子
(栄養士)



・つつじ寮

藤田 陽子
(生活支援員)



・わくわくワーク大塚

杉浦てつ子
(生活支援員)



・わくわくワーク大塚

鈴木 裕美
(調理員)



法人内における異動紹介

・つつじ寮
↓わくわくワーク大塚
彦坂 孔裕

・つつじ寮
↓わくわくワーク大塚
大須賀誠二

・つつじ寮
↓すてっぷ
鈴木 克典

・ひめはる
↓サポートくすの木
佐藤 安弘

・つつじ寮
柴田 史枝

・つつじ寮
加藤みわ子

・つつじ寮
渡辺 ゆき

・わくわくワーク大塚
和田 明子

退職者

・サポートくすの木
渡辺 浩昭

・つつじ寮
斉藤 享子

・つつじ寮
大場 弘美

・つつじ寮
渡辺 ゆき

・つつじ寮
渡辺 ゆき

・つつじ寮
渡辺 ゆき

・サポートくすの木
渡辺 浩昭

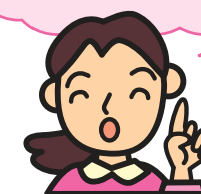
・わくわくワーク大塚
和田 明子

編集後記

くすの木福祉事業会は、皆様に支えられ設立30周年を迎えることができました。これからもくすの木福祉事業会をよろしくお願致します。

お知らせ

平成24年度事業報告・決算書は、いつでも法人本部で閲覧することができます。



広報くすのき (年2回発行)

発行元
〒443-0013
愛知県蒲郡市大塚町後広畑85番地1
TEL (0533) 59-7221
社会福祉法人 くすの木福祉事業会
http://tutujiryo.sakura.ne.jp/

くすの木福祉事業会 | 検索

法人創立三十周年を迎えて

6月9日、つつじ寮にて多くのご来賓及び関係の皆様方にお越しいただき「つつじ寮開設30周年記念式典」を挙行了しました。ここに改めて、長年に渡る皆様方のご支援に深く感謝申し上げます。

さて、当法人が設立認可を受けた日は、昭和57年12月6日であります。法人も、歳月を経て「創立30周年」を迎えたわけであります。三十三数年前、手をつなぐ親の会が中心となり、施設を大塚のこの地に、愛知県・蒲郡市を始め多くの関係者の多大なるご支援、ご協力を得て建設の運びとなった折には、我が子の



初代理事長 市川 弘

行く末を案じていた親御さんにとり、本当に嬉しい思いがしたのではないかと拝察します。その当時は、知的障がい者に対する偏見と差別は非常に大きく、つつじ寮は安心して暮らせる場として、希望の施設となったのではないのでしょうか。昭和58年4月つつじ寮開設時、「ここは、県下でも、最新の環境を誇ります。」と当時の施設長の言葉を耳にし、若い職員集団は、自らに課せられた使命に、誰しも目を輝かせ、生き生きと利用者の支援にあたっていたことが思い起こされます。

つつじ寮開設に至るまでの蒲郡市内の知的障がい者の歴史は、記録として残るものが少ないため、正確ではないかもしれませんが、大きな流れとして、戦後昭和32年4月に蒲郡市在住の知的障がい児者を持つ親が集まり「親の会」が出来たとの記録があります。その後においては、



▲つつじ寮 建設用地

まだ整備されていない諸制度の中で、早期療育から就学や就労、また施設・病院での暮らし等について、会員同士の励ましや情報交換の場となったようです。次に昭和49年1月に、運営主体として蒲郡市社会福祉協議会が無認可小規模作業所、蒲郡市福祉作業所「くすの木園」を定員10名で開設した記録があります。在宅で働く場を求めていた知的障がい者にとっては、無常の喜びとなったことと思います。昭和51年9月には、「施設づくり」の話が「親の会」で出たと記録されています。そ



▲つつじ寮 建設地鎮祭

の後、蒲郡市や親の会等関係者の六年半に渡る血の滲むような努力の結果が、50名定員のつつじ寮となつたと聞いております。ちょうど、世界的には国連が昭和46年に「知的障害者の権利宣言」、昭和50年に「障害者の権利宣言」を採択したことに次ぎ、これらを単なる理念としてではなく、社会において実現するという意図のもとに決議された昭和56年の「国際障害者年」(テーマは「完全参加と平等」とその後の「国連・障害者の10年」など、国内的にも障がい者に対する理解が深まりゆく



第三代理事長 杉浦 定



第二代理事長 森 桂吾

時であり、施設がある大塚町民の皆様方の深いご理解に併せ、いかに国民ひとりひとりの障がい者に対する理解の浸透が大事かがわかります。

こうしたノーマライゼーションに代表される言葉や障がい者への理解の広がりを見せる中、学校教育においては昭和54年4月から、養護学校の義務教育化が始まり、学校教育から就学免除されていた障がい児が、東三河では県立の豊川・豊橋の養護学校に通うようになりました。

当然、学校ですので、やがて卒業期を迎え、就職できる人は社会に出て働くわけですが、その能力において就職できない人については、働くこともできず、在宅生活を余儀なくさせられるという親の不安から、「自分が我が子の面倒を見るうちは、家庭で面倒を見るから、昼間は仲間と一緒にどこか働ける事業所が欲しい。」との要望へと発展してきました。たまたま、現在の豊川市御津町に障がい児の施設を廃園にする話があり、当法人がその有効活用として昭和60年4月に定員30名の「くすの木授産所」を開設し、要望実現となったわけです。「働く場」に集った、利用者の皆さん一人ひとりの生き生きとした顔が今は思い出の写真として残っています。

当法人では、こうした要望を引き続き実現させるため、平成3年4月に定員30名の「大塚授産所」を開設し、現在は生活介護事業所として「サポートくすの木(定員55名)」「わくわくワーク大塚(定員40名)」とそれぞれ名称変更し、独自の活動内容を考え運営しています。

「働く場は出来た。」では、次の法人の事業展開は「暮らしの場の確保」に移ってきました。平成元年から始まったグループホーム事業を平成5年につつじ寮(入所施設)から地域移行の形で始めました。ホームから電車に乗り、街のデパートで、ひとり自由に買い物をしている姿を見たとき、「地域の中で、普通に暮らす」ことへの入所施設職員として受けた衝撃は確かにありました。その後は、平成8年「さつき荘」、平成19年「あざれあ」と2ヶ所ケアホームを開設しております。

「親亡き後」のことについての不安を訴えられる親が多くなってきたのはここ5年ほど前からです。ひとつには、親の高齢化です。「どうか我が子が、地域の中で生涯安心して暮らせますように」との願いは切実であり、法人としては平成23年に「ひめはる」、平成25年に「かるみあ」を開設し、現在ケアホームの入居者数合計は30名となりました。しかし、まだまだ新しいホーム開設を望む声があります。こうした声は、本年1月から開始した特定計画相談

支援事業所である「障害者サポートセンターすてっぷ」の計画相談の中でも、本人のニーズとして整理されていくものと思えます。地域の知的障がい者を総合的に支援していく体制整備については、まだまだ十分ではありませんが、「当法人の事業所のサービスを受けて本当に良かった」と皆様方に愛され、評価されるのが、何より大事であります。最後に、「利用者様の高齢化」が、浮き彫りになって来ました。つつじ寮で30年間暮らし続けてきた方の中では最高齢が85歳となります。建物が30年経過し、老朽化と、もともと4人部屋で、作りつけベットのため、高齢の方には高すぎたりして危険が伴ったため、緊急に一部改修工事を行いました。ご高齢でも「安心して暮らせる環境づくりは、今後最も急務の課題であります。

今回は、法人創立30周年の節目を迎え、次なる40周年、50周年を目指すにあたり、当法人の過去の流れを整理させていただきました。



大きな船盛ですね!!
(船大工が造った船です)
ハンカロールですが、まあ一杯どうぞ!!

記念パーティー
(来賓会場)



なにをいただきますかしら。。。

記念パーティー
(保護者・利用者会場)



ずしおいしい~
OOさん わたがしやかき氷も
あったわよ。どれ食べる??

記念パーティー
(保護者・利用者会場)



寿司職人による実演

へい!!お待ち!マグロにエビだね!!



駒久家南朝さん 落語披露
(つけ耳鼻咽喉科院長 柘植勇人先生)

いつもの先生とちがってプロの落語家みたい。
おもしろかったです。



木の笛コカリナ
ふれあいコンサートにて

竹内支援員の声楽コラボ
会場は大盛り上がり!利用者さんも手拍子で参加。
(演奏:コカリナアンサンブル隊)

日本財団様よりアルト寄贈
さつき荘に、福祉車両を配備しました。
日本財団様から助成を受け、今年3月に、さつき荘にスズキのアルトを整備することができました。今後、買い物や外食の引率等、幅広い利用を目的として活用させていただきます。ありがとうございます。



平成25年度 自治会役員
会長 助川 実 副会長 平野 和美
「よろしくおねがいます!」

つつじ寮 開設30周年

6月9日、つつじ寮にて開設30周年式典と記念パーティーを開催しました。多くのご来賓及び関係の皆様にご臨席頂き、誠にありがとうございました。当日は、式典、パーティーと盛大に開催することができました。また、アトラクションではピアノとチェロのアニバーサリーコンサートやコカリナふれあいコンサート、落語の披露もありました。パーティーでは、ビュッフェスタイルの料理と寿司やしゃぶしゃぶの実演コーナーがあり利用者、保護者とも楽しく過ごすことができました。



30周年記念式典

つつじ寮食堂にて
100名を超える参加者があり
盛大に行われました。



蒲郡市長 稲葉正吉様

ご祝辞ありがとうございました。



感謝状贈呈式

つつじ寮での長年にわたるボランティア活動
ありがとうございました。
これからもよろしくお願いします。



ピアノとチェロのつつじ
アニバーサリーコンサート

素晴らしい演奏でした。
(ピアノ: 岡戸理恵様 チェロ: 村井真由美様)



AED・防災用リアカー贈呈式

株式会社東海理化様ならびに東海理化労働組合様より、AED(自動体外式除細動器)と防災用折りたたみリアカーが寄贈されました。

7月10日にサポートくすの木にて、贈呈式が行われました。万が一の安心・安全として、大切に使用して頂きたいと思っております。ありがとうございました。



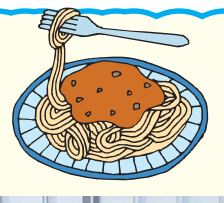
成人を祝う会

1月12日に成人を祝う会を行いました。

今年は2名の利用者さんが成人を迎えました。スーツ姿がとってもかっこいいですね。おめでとうございます。



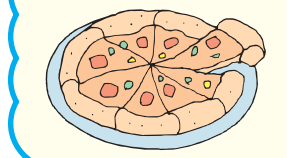
サポートくすの木



ランチレク

5月24日、31日の二日に分かれてランチレクに出かけてきました。

24日は1課の皆さんが「さわやか」でハンバーグを食べ、うなぎハイ工場を見学してきました。31日は2課と元気班の皆さんがサンテパークたはらで採れた野菜を使ったバイキングを楽しみました。



新入所者紹介

山口 徳彦さん	山本 愛さん
神保 喜隆さん	武澤 和子さん

第二課木工班で頑張っています。

第一課クリーニング班で作業を頑張っています。

元気班で作業をがんばっています。

第二課かぶりえ班でお菓子作りを頑張っています。

平成二十五年 度 自治会役員

会長 村上 直美	企画委員 高橋 すすえ子
副会長 岡田 繁仁	長浜 稔子
中島 知子	横田 彰
山本 知幸	船井 美余
	山本 美余

バス贈呈式



平成25年4月に、日本財団様の助成を受け納車された三菱ローザの贈呈式を、サポートくすの木駐車でを行いました。

贈呈式には、日本財団の尾形武寿理事長や、前蒲郡市長の金原久雄さんなどが参加しました。

日本財団理事長から、利用者代表の

表の小笠原康真さんにレプリカキーが渡され、最後は金原久雄さんの運転で、利用者を自宅まで送りました。

今まで蒲郡方面の送迎で使っていたバスは、10年間利用者を乗せて毎日50kmもの距離を走っていました。引き続き、新



しいバスにも蒲郡方面の送迎、レクリエーションなどの外出で大切に使用させていただきたいと思えます。



また、同年の3月11日に日産セレナも納車されました。サポートくすの木では、日産セレナ、日野リエッセ、三菱ローザ、日産キャラバンの4台もの車両が日本財団の助成車両で、車体に日本財団のマークがついています。日産セレナはケアホームの送迎や、納品、ドライブなどで使っています。公用車の台数が増えたことにより、施設でも自動車を有意義に使い、職員も喜んでいます。

クリーニング業務終了と引き継ぎのお知らせ

わくわくワーク大塚(旧大塚授産所)は平成3年4月の開所以来、皆様の多大なるご支援のもとクリーニング業務を続けてまいりましたが、新規事業展開のため、**来る平成25年10月31日**をもちまして業務を終了することになりました。なお、クリーニングの受付(受注)は恐れ入りますが、平成25年9月30日までとさせていただきます。

皆様の温かいご支援の中での苦渋の選択となりました。長年にわたるご愛顧を賜り心から感謝申し上げます。

つきましては、これまでのクリーニング業務は、姉妹施設、「サポートくすの木」で引き継いでいただくことになりました。連絡先は以下のとおりです。何かと手間をおかけしますが、何卒ご容赦願います。

これからも、わくわくワーク大塚を末永くよろしくお願ひ申し上げます。



引き継ぎ先
サポートくすの木(クリーニング担当)
 〒441-0311
 豊川市御津町御馬塩浜 29 番地の 2
 TEL (0533) 76-2276
 FAX (0533) 76-2076

連絡先
わくわくワーク大塚
 〒441-0013 蒲郡市大塚町後広畑25番地の2
 TEL (0533) 59-7728
 FAX (0533) 59-7729

今までありがとうございました。



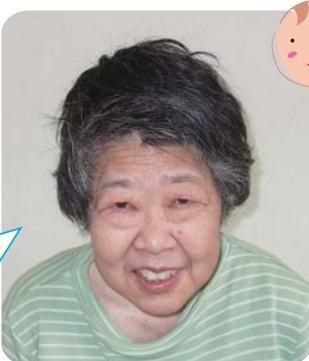
地域清掃奉仕活動
 毎年恒例の地域清掃奉仕活動ですが、今年2回、わくわくワーク大塚周辺の清掃、隣町の老人介護施設での車椅子の洗浄などを行っています。助けられるばかりでなく、私たちにもできることで地域に貢献できればと考えています。

4月からわくわくワーク大塚の委託作業科で働いています。仕事を頑張つて、好きなものを買いたいです。



伊吹 勝六さん

わくわくワーク大塚の委託作業科で4月から作業をしています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。



牧野 秀子さん

新メンバー紹介

平成25年度 自治会役員決定
 毎年恒例の自治会選挙。一人ずつ投票用紙が配られ、自治会会長さんになって欲しい人に○を打ってもらいました。結果は自治会会長さんに皆川可奈子さん、副会長に今泉正樹さんが選ばれました。今年度も楽しい、わくわくワーク大塚になるようにがんばってください。



役員: 志賀 隆宏・飯島 克俊
 鈴木 綾子・小島真理子
会長: 皆川可奈子
副会長: 今泉 正樹
 平野有佳里・伊吹 勝六

- H24年12月〜H25年5月**
つつじ寮寄付物品
寄付者ご芳名
- 法人後援会 様
 - 前嶋康子 様
 - 丸正精肉店 様
 - M Tライーステーション 様
 - 杉江電設 様
 - 丸文魚商店 様
 - 杉江電設株式会社 様
 - 近藤建材リビングセンター 様
 - 大塚保育園 様
 - 朝日屋 様
 - 光明寺 様
 - 養円寺 様
 - 長興寺 様
 - 敬圓寺 様
 - 杉本屋製菓 様
 - 愛知東邦大学 吉村 讓 様
 - 蒲郡印刷所 様
 - 三州自動車 様
 - 光田屋 様
 - フコク生命名古屋支社 様
 - ダイイチ建材 様
 - 県地域婦人団体連絡協議会 様
 - 蒲郡市議会 様
 - 蒲郡善意銀行 様

- つつじ寮ボランティア**
寄付者ご芳名
- つくしんぼ 様
 - 蒲郡中学校 様
 - 桜の会 様
 - ヘアサロンウカイ 様
 - 片岡理容 様
 - とこやSANO 様
 - 本田理容 様
 - 渡辺坂司 様
 - 大岡恵津子 様
 - 壁谷文子 様
 - 小林英生 様
 - 戸田栄子 様
 - 西浦工芸 様
 - ひまわり会 様
 - 平岩夏居 様
 - 岡本晴美 様
 - 徳倉 歩 様
 - 丸正食肉 様
 - 兼お鮮魚店 様
 - M Tライーステーション 様
 - 福益工業所 様
 - 三河ランチ 様
 - マルナカ青果 様
 - 平松工業 様
 - 光田屋 様

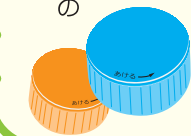
- サポートくすの木**
寄付者ご芳名
- A I H O (株) 様
 - 蒲郡印刷所 様
 - 数井木材 様
 - 三河屋製菓 様
 - 花王(株) 様
 - (株)ワークステーション 様
 - (株)光陽 様
 - 東雲寺 様
 - 大円寺 様
 - 正楽寺 様
 - 円通寺 様
 - 杉本屋製菓 様
 - 安久美神戸神明社 様
 - 金子正巳 様
 - 綿引健太郎 様
 - 朝日屋 様
 - 白井邦男 様
 - 丸福青果食料品店 様
 - 三河ランチ 様
 - 東海液化ガス 様
 - 小田たみ子 様
 - 蒲郡印刷所 様
 - ダイイチ建材 様

「エコキャップ運動」

平成25年4月の時点でくすの木福祉事業会に集められたエコキャップは受領個数18,941個。ワクチン22人分になりました。

ご協力ありがとうございました。

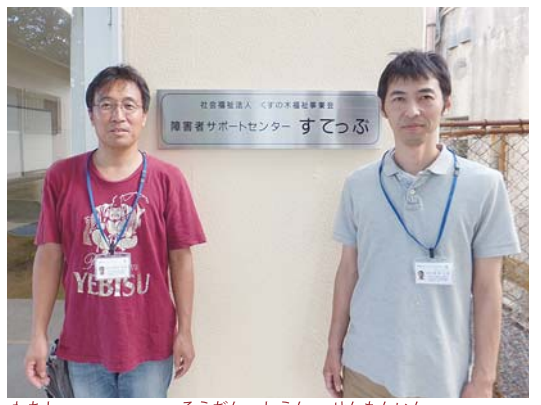
※エコキャップ推進協会のHPで確認できます。



- サポートくすの木**
ボランティア
- 福井合成 様
 - 蒲郡市社会福祉協議会 様
 - 杉本屋製菓 様
 - (株)高橋石油 様
 - 六興電気(株) 様
 - (株)大須賀鉄工 様
 - 佐藤希代子 様
 - (株)オオヨドコーポレーション 様
 - 牧原弘記 様
 - わくわくワーク大塚保護者会 様
 - 坂本尚美 様
 - 稲熊富美代 様
 - 川合将市 様

障害者サポートセンター すてっぷ (相談支援事業所)

昨年度より、ケアホームひめはるの地内に「障害者サポートセンターすてっぷ」として相談支援の事業所を構え、業務を開始しました。今年度からは相談支援専門員を専任1名、兼務1名とし、体制を整えた上で相談支援の充実を図っていきます。蒲郡市内では、多くの方々の計画相談を実施する必要があり、基幹相談センターと連携をとりながら進めてまいります。利用者の方が笑顔で生活できるような計画を作ることを信じて、二人で頑張ります。計画相談以外にも、お悩みなど相談されたいことがございましたら、遠慮なくお電話なり、事務所にお越しただくなりしていただければと思います。お待ちしております。



私たちが、相談支援専門員です。
 ★すてっぷ電話番号 0533-59-7215

共同生活介護事業所
 4ヶ所目のホームがオープンしました

3月30日(土)の開所式を経て、くすの木福祉事業会の4番目のケアホームとして『かるみあ』が、4月1日(月)オープンしました。

木造2階建てのホームは、平成24年度の愛知県補助金を頂き完成、1階に女性利用者5名、2階に男性利用者5名の計10名の方が入居され、8名の世話人が日々の生活を支援しています。初めて親元から離れて生活をされた方も、安心して暮らす事ができる住まいの場として、さらに充実できるような支援していきたいと思っております。

当法人では、現在4つのホームで計30名の方が地域生活を送っています。各ホームが利用者にとって「安心して暮らす事ができる住まいの場」として、さらに充実できるような支援していきたいと思っております。






▲かるみあ
 ▲さつき荘
 ▲ひめはる
 ▲あざれあ